



トークセッション & ジャズライブ ナゴヤの北のはずれで文化を考える

市内唯一のモグらない・地下鉄が通らない・区で30年戦い続けた文化とは

★第一部 ジャズライブ



守山出身のジャズピアニスト。クラシックとジャズを基盤に国内外で演奏・作曲活動を展開し、多彩な表現で高い評価を得る。

&



叙情的な歌声で国内外に支持を広げるボーカリスト。守山で育んだ感性を原点到、アルバム制作や海外公演など幅広く活動。

with



川本 大樹

★第二部 映像とトークでたどる 守文会のあゆみ

岡田保 白樺八青 聞き手：庄野 俊哉



★第三部 平田オリザ氏 講演「地域における文化芸術の未来」(仮題)



劇作家・演出家。青年団主宰。芸術文化観光専門職大学学長。国内外で多数の受賞歴を持ち、演劇と文化政策の両面で活動。豊岡市を拠点に、地域文化の未来を拓く実践を続けている。

芸術文化観光専門職大学(兵庫県)の学長を勤める平田オリザさんのお話から、これから地域ではくむ文化芸術とその可能性を見つけ・学び・あらたな動きにつなげる。

引き続き ★トークセッション



西川 千雅

日本舞踊西川流四世家元。伝統と現代表現を融合した舞台創造を行い、地域文化・教育にも関わり新たな芸術の可能性を広げる。守山区に住み始めて4年。



川本 大樹

書家。守山区で二代にわたり書道塾を営む。受賞多数。万博やホテルイベントで大作を揮筆。伝統と現代性をあわせ持つ書の表現を追求し続けている。



川村 ミチル

演出家・劇作家として市民劇や教育事業を多数手がける。演劇を通じて社会と地域をつなぎ、守文会作品にも深く関わる。



田代 京美

守山で60年、地域ボランティアとして幅広く活動。給食配達や民生委員、日舞指導などを通じて地域に寄り添い続けている。



進行 白樺 八青

守文会代表。発足以来、俳優・台本執筆・企画制作などで守文会の全公演に関わる。



総合司会 庄野 俊哉

アナウンサーとして報道に携わり、守山で音読活動を展開。言葉と声の力で地域に寄り添い、劇場公演にも出演してきた。

★ロビー企画「守文会」30年の軌跡

守文会が歩んだ舞台作品・企画・出会いの記録を展示しています。



2026年 11月 23日 (月・祝) 開演 午後2時

(開場 午後1時30分 終演予定 午後4時30分)

会場 守山文化小劇場 ホールおよびロビー

愛知県名古屋市守山区小幡南1丁目24-10 TEL 052-796-1821

名鉄瀬戸線「小幡駅」直結 アクロス小幡3階

チケット 3,000円

【守山文化小劇場および事業団が管理する文化施設の窓口にて取り扱い】

事業団友の会会員・障がい者手帳をお持ちの方 2,500円

発売開始 8月25日

web購入はこちらから

teket

出演者の
詳細プロフィール



名古屋市の方針で市内各区に「文化小劇場」が建設される中、故 丸子礼二氏の呼びかけで、1996 年 5 月に発足。1999 年 6 月、守山文化小劇場の開館記念公演として「花・夢・街道 守山 いまとむかし」を企画・上演。価値観もポリシーも異なる者同士が、ときに激論を戦わせながら作り上げた舞台は、「ここでしか生まれない作品」となった。以降、オリジナル台本による“市民参加型”の演劇や音楽会などを数多く実施。また開館以来、多くの合唱団が一堂に会し日ごろの成果を発表する「もりやま合唱フェスタ」を（コロナ禍の一年を除き）毎年開催している。



トークセッション
ジャズライブ
ナゴヤの
北のはずれで
文化を考える
市内唯一のモグラない・地下鉄が通らない・区で 30 年続し続けた文化とは

- 1999 うた芝居
「花・夢・街道 守山 いまとむかし」※開館記念
- 2002 ミュージカル
「ふたりのディーバ」
- 2003 ミュージカル
「賢治まんたら」
- 2003 うた芝居
「もりやま水のものごたり」
- 2005 音楽ものがたり
「ベートーベンなんかこわくない？」
- 2006 うた物語
「サキちゃんのおくりもの」※名古屋市民芸術祭審査員特別賞受賞
- 2009 うた芝居
「もりやま夢くずれ」※開館 10 周年記念
- 2011 音楽ものがたり
「モーツアルトじゃないってばあ！」
- 2014 音楽会 de ショー
「十五年目の招待状」※開館 15 周年記念
- 2018 LaLa ライブ
「百花繚乱」&「クラフトアートっと！」※開館 20 周年企画
- 2019 「ふるさとの歌 人生の歌」※開館 20 周年記念
- 2019 うた芝居
「海のひかり 森のかげ」※開館 20 周年記念

※コロナ禍の下、劇場から出て『もりやまあっちこっち LIVE』を企画・開催

- 2020 「ケン、たま、たっくんの丁々発止」(誓願寺)
- 2020 「八竜緑地の風に吹かれて」(八竜緑地)
- 2021 「ゆるやかに時は流れて」※延期～のちに中止
- 2021 「ハルリンドウの咲くころに」(はちりゅうのもり音楽館)
- 2021 「語ル奏デル文月ノ日」(どうだん亭)
- 2022 「蔵くらクラシック」(東春酒造酒蔵)
- 2025 「三者三葉 絃の響き」(誓願寺)
- 2023 音楽会&作品展
「森のささやき 風のうた」※開館 25 周年記念企画
- 2024 オリジナルミュージカル
「ひびきあう生命」※開館 25 周年記念

私たちは守山文化小劇場を拠点として活動を続け、気づけば発足から 30 年を迎えました。会を作り上げた方々の多くが鬼籍に入られた今、守山区という名古屋市の“北のはずれ”の地で、なぜここまで文化を創造・発信することができたのかをあらためて考える時間を持つと思います。兵庫県の、くしくも“北のはずれ”の豊岡市に移住され、芸術と観光が融合する公立大学の創設に関わり、現在は学長を務めていらっしゃる平田オリザ氏をメイン講師に迎え、文化芸能に携わる守山ゆかりの方々と語り合いの中から、「地域における文化芸術の未来」を展望できればと思っています。併せて、会がこれまで手がけたことのなかったジャズライブにも守山ゆかりのメンバーに登場していただきます。

◆ スタッフ

音響・照明・舞台：劇場スタッフ

映像：牛嶋宏樹

宣伝美術：庄野達夫

総合制作：白樺八青